



超軽量透明断熱材「SUFA」のティエムファクトリ 6.7億円の資金調達を実施し、茨城県の新研究拠点が竣工

ティエムファクトリ株式会社（本社:東京都港区、代表取締役社長:山地正洋、以下「当社」）は、このたび、第三者割当増資による 6.7 億円の資金調達を実施しました。また、当社の SUFA モノリス（透明板状）に関する研究開発機能が集約される予定の、茨城エアロゲルテクノロジーセンター（以下 茨城 ATC）が 4 月 28 日に竣工いたしました。今後はこの茨城 ATC において、更なる SUFA の開発を進めて参ります。



【本資金調達の目的】

当社の主力商材である、超軽量透明断熱材「SUFA」の更なる研究開発および、量産化へ向けた研究環境の強化のため。

【本調達の概要】

調達金額	6.7 億円
引受先 (順不同) (敬称略)	<ul style="list-style-type: none">・ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社・京都大学イノベーションキャピタル株式会社・フューチャーベンチャーキャピタル株式会社・三菱 UFJ キャピタル株式会社・めぶき地域創生ファンド・YKK AP 株式会社

ご連絡先

ティエムファクトリ株式会社

ブランディングチーム 広報 小野間瑞季

電話：08071637565 メール：onoma@tiem.jp

**【茨城 ATC 概要】**

正式名称	茨城エアロゲルテクノロジーセンター
所在地	茨城県東茨城郡茨城町中央工業団地
竣工日	2020年4月28日

【茨城 ATC について】

「SUFA」はモノリス(透明板状)タイプ、パウダー(粉状)タイプ、ブランケット(布状)タイプの3種類があります。モノリス(板状)タイプのさらなる開発を進めるため、新たに研究開発拠点を設置することで、さらに事業全体のスピードを加速させることが可能になります。

【超軽量透明断熱材「SUFA」とは】

「SUFA (=Super Functional Air)」は京都大学との共同研究により開発した、エアロゲルを指します。最も大きな特徴は、その断熱性能と透明度の高さ、そして製造工程にあります。これまでエアロゲルの作製には、超臨界乾燥装置と呼ばれる高価な装置が必要であったため、現実的な価格での販売が困難でした。当社では独自のレシピを開発し、高透明度で大判のエアロゲル SUFA を、特殊装置を使用せず作成することに成功したことで、価格を抑えることが可能になりました。

【SUFA の可能性】

SUFA の熱伝導率はモノリスタイプで $0.012\text{W/m}\cdot\text{K}$ 程度と大変低く、断熱材としての性能は世界最高レベルです。また、透明で軽量あることから、これまで断熱が困難だった窓や透明部の断熱が可能になります。住宅や自動車、保冷物流などの業界で搭載されれば、熱マネジメントを効率化し、地球環境への負荷低減に大きく貢献できます。**【会社概要】**



会社名	ティエムファクトリ株式会社
代表	山地正洋
設立	2012年11月2日
本社	東京都港区
資本金	1,324,928,000円(資本剰余金等を含む)
Website	https://www.tiem.jp/

ご連絡先

ティエムファクトリ株式会社

ブランディングチーム 広報 小野間瑞季

電話：08071637565 メール：onoma@tiem.jp